

# ともしび保育園



2019年8月1日 発行



## 生きものが教えてくれること



8月です。ずっと曇りや雨の涼しい日が続いていましたが、ようやく夏らしい日差しや暑さを感じるようになってきました。皆さんは体調など崩していらっしゃらないでしょうか。ともしび保育園の子どもたちは、プール遊びを中心に元気よく遊んでいます。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

7月11～12日に、きりん組のお泊り保育で、あきる野市にあるコテージ森林村に行ってきました。あいにくの天気で水着での川遊びやキャンプファイヤーは出来ませんでした。魚やかたつむりを捕まえたり、ラリーや探検、クッキング、ストーンペインティングなどをして、子どもたちは自然の中でのキャンプを楽しんでいたようでした。私も自由時間には何人かと一緒に虫探しをするなど、子どもたちと一緒に過ごす時間を持ってとてもうれしかったです。



虫と言えば、こぐま組では保護者の方から頂いたカマキリを、きりん組ではカブトムシを、お部屋で皆が協力し合って育てています。虫だけでなく、生き物を飼育するという経験は、子どもたちにとってとても大切なことだと思っています。



生き物を育てていく中で、住むところや食べるものなどについての知識を得たり、ちゃんと世話をしないといけないという責任感が芽生えます。そしてその生き物が死んでしまった時は、悲しみを感じるとともに、

限りある命の大切さや尊さについて考える機会になります。もちろん、本当の意味で死を理解するのは7歳頃と言われているから、すぐに何もかも分かるという訳ではありませんが、そういった経験の積み重ねによって、自分や家族、友達やこの世界に生きるもの全ての命を慈しむ心が育まれるのではないかと思います。



☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

さて、暑くても外で遊ぶのが大好きな子どもたちですが、熱中症や光化学スモッグの指数にも注視しつつ、水分補給も十分に行い、元気にこの夏を乗り切ることが出来るよう保育園でも努めてまいります。ご家庭でもお子様の疲れの溜まり具合などにはくれぐれもご注意いただきたいと思います。何卒よろしく願いいたします。

園長 山田 英